

駐在員主導で日本品質

SITC のアジア展開の外面での核となる駐在員の配置。
タイの村上浩樹駐在員と、ベトナムの稲田勝一駐在員がメッセージを寄せた。



村上浩樹

駐在員

2012年から SITC THAILAND 駐在

「09年12月に現地法人として設立した SITC コンテナラインズ(タイランド)は、今年、実質5周年の節目を迎えました。10年当初週2便、年間のコンテナ取扱量は輸出入合わせて6万TEUほどでしたが、14年度では、週7便体制、25万TEU超を達成しました。この間、サービス品質の向上に注力し、14年末にはタイ国政府商務省国際貿易振興局から、当社の規模クラスにおいて、最優秀コンテナ船社賞に選出いただきました。お客さまのご指導とご援助の賜物です。深く感謝します。

今後ますますアジア域内のサービスを拡充し、利便性の向上に努めてまいります」



稲田勝一

駐在員

2015年から SITC VIETNAM 駐在

「15年末に予定されている『アセアン経済共同体』の発足。そして、18年に向けて進められている域内輸入関税撤廃。アセアン地域の注目度が、ますます高くなっています。そのアセアン経済共同体の加盟国で中心国の一つであるベトナムで、日本人会、日本商工会などに参加されている企業は約1400社、加盟していない企業を含めれば1500社を超えているといわれています。SITCは、15年4月にタイに続いて2人目の日本人駐在員をベトナムに配置しました。SITCは、ベトナムで日系企業のニーズに対応し、日本的なサービスを提供することが最大の役目と考えています。これからもインドアジアの輸送網を拡充し、SITCベトナム一丸となって取り組みます」

